

新年のご挨拶

東部ファスナー協同組合
理事長 望月紀人

新年明けましておめでとうございます。皆様には東部ファスナー協同組合に対し、格別なるご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げますと共に、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、我が国経済において景気は穏やかな回復基調にあると言われておりましたが、地域や業種、事業者の規模によって景況感のばらつきがあり、中小企業、小規模事業者においてはその実感を得られていない声も多く聞こえました。貿易紛争や移民問題、政治政策不安、地政学的課題などを起因とし不透明感が強まる世界経済、国内においては頻発する自然災害、深刻化する人手不足や後継者難、エネルギーや原材料、副資材の高騰、調達不安など、事業環境は刻一刻と変化し上書きされ、日を追うごとにその厳しさが増していると言わざるをえません。そしてその変化に適切かつ速やかに対応していくことが事業継続の為にも重要な課題となっております。

そのなか当組合は事業の一環として、昨年4月より組合員企業が災害発生等において被災し、機械設備や付帯設備に被害が生じ生産停止や復旧に時間が掛かるなどの場合において、取引先に対し可能な限り短い期間で供給を続けられるよう、協同組合の理念である「相互扶助の精神」に則り、組合員企業間において積極的な相互協力をするを目的とする「東部ファスナー協同組合 BCP アライアンス(TFA)」を策定し施行いたしました。現在はそれに賛同していただいた組合員13社がすでに加入しており、近年激しさが増す豪雨や台風による被害、地震や火災などによる被災など、いつでも起きてもおかしくない状況に対しBCP(事業継続計画)の一つとして備えているところであります。引き続き更なる加入者を募ると共に、相互扶助の精神のもと、前述したTFAのように実情に即した事業活動を策定し実施できるよう、組合員皆様をはじめ各位よりアイデア、ご提案を寄せていただきたくお願い申し上げます。

さて、今年には新たな元号を迎える年となります。干支は「己亥(つちのとい)」となり、「己」はこれまでのことを見直しながら次の段階を目指し準備をする年、「亥」は次の成長に備えて知識や精神を育て基盤を固める年とも言われております。企業にとっては人材育成や設備投資、経営基盤を見直しながら更なる強化をし、次の飛躍を目指す年とも言えそうです。

しかし過去には富士山宝永噴火、関東大震災、阪神淡路大震災など大きな災害が起きている干支にもなっており、防災、災害対策についても改めて見直す年と言えるかもしれません。本年も組合員各位におきましては、この協同組合というコミュニティーを情報交換の場としては勿論、事業継続、維持発展の為に存分に活用していただき、更なる飛躍のお役に立てるよう努める所存と共に、皆様にとりましても輝かしい年になることを祈念申し上げまして、年頭の挨拶とさせていただきます。